シカモア日本語教室

検組　名前

宿題確かめ表

５月１３日～５月１９日

サイン		今　週　の　宿　題	提出
	１	音読　教科書　Ｐ４８～Ｐ５７	○
	２	漢字学習ノート　Ｐ２０～Ｐ２４（識・準・備・応・力だめし(1)(2)・因・述・在）	○
	３	ワークシート「言葉の意味がわかること①・②・③・④」	○
	４	言葉と文「動きや様子を表す言葉②」	○
	５	日々のことを記録しよう　タイプして提出　Google Classroom	○
	６	社会科教科書　Ｐ７６～９３「米作りのさかんな地域―山形県庄内平野―」を読む。	
	７Ａ	都道府県を調べよう⑥　「山形県」	○
		NHK for school 「見えるぞ！ニッポン！山形県～サクランボ～」を観る	
	７Ｂ	都道府県ドリル⑤「山形県」	○
		NHK for school「米づくりがさかんな庄内平野」・「山形県の農業」を観る	
	８	言葉をよりすぐって俳句を作ろう②　（夏の俳句）	○
	９	漢字のおさらい「２年生　ステージ１」２まい	○
	１０	漢字テスト⑥の練習（←漢字を書くテスト⑥）	○
	１１	漢字読みを読む⑥の練習　（←来週の漢字を読むテスト⑥）	○
	１２	漢字テスト⑤	○
	１３	授業用ワーク「言葉の意味が分かること①」	○
	１４	５月の歌「ゆかいにあるけば」を歌う　（日本語教室のウェブサイトで練習）	

音読カード

宿題の提出は５月１９日まで

きのうより上手に読めたかな

よくできた◎　できた○　もうすこし△

読んだところ　（　言葉の意味が分かること・原因と結果　）							
読　む　め　あ　て	金	土	日	月	火	水	木
①　しせい正しく							
②　大きな声ではっきりと							
③　句読点で区切ってゆっくりと							
④　正しくまちがえないで							
⑤　内容が分かる							
おうちの人のサイン							

言葉の意味が分かること　①

● 次の文章を読んで、答えましょう。

㋐「言葉の意味が分かる」ことは、あなたが思う以上におく深いことです。なぜなら、言葉の意味には広がりがあるからです。㋑このことを知っておくことは、言葉を学ぶときに役立ち、ふだん使っている言葉やものの見方を見直すことにもつながります。

㋒［　　］、言葉の意味に広がりがあるとは、どういうことなのでしょうか。小さな子どもに言葉を教える例をもとに考えてみましょう。

(1) ㋐——について答えましょう。

① 「おく深い」の意味にあてはまるものを一つ選んで○をつけましょう。

（　）分かりやすい
（　）意味が深い
（　）おくにあって理解できない

② 「言葉の意味が分かる」ことが、思う以上におく深いのは、なぜですか。

［　　］

(2) ㋑「このこと」とは、どのようなことを指していますか。

［　　］

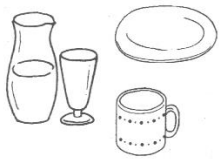
(3) ㋒［　　］にあてはまる言葉を一つ選んで○をつけましょう。

（　）しかし　（　）それでは
（　）だから

言葉の意味が分かること　②

● 次の文章を読んで、答えましょう。

ここから分かるように、㋐「コップ」という一つの言葉が指すものの中にも、色や形、大きさ、使い方など、さまざまな特徴をもったものがふくまれます。つまり㋑「コップ」の意味には広がりがあるのです。また、その広がりは、「皿」「わん」「湯のみ」「グラス」「カップ」といった他の食器や、「花びん」のような他の似たものを指す言葉との関係で決まってくるのです。



(1) ㋐——について答えましょう。

① 「コップ」という一つの言葉が指すものの中には、何をもったものがふくまれますか。文中の言葉七文字で答えましょう。

［　　］

② ①の具体的な例を、文中から四つ見つけて書きましょう。

［　　］
［　　］
［　　］
［　　］

(2) ㋑——とありますが、「コップ」の意味の広がりは、どのように決まってくるのですか。

「皿」「わん」などの［　　］や、「花びん」のような［　　］を指す言葉との［　　］で決まってくる。

言葉の意味が分かること　③

●次の文章を読んで、答えましょう。

一つの言葉がどこまで使えるのか、全ての事物を見て、確かめることはできません。だから、㋐小さな子どもは、かぎられた例をもとに言葉の意味のはんいを自分で考え、使っていきます。これは、簡単なことではありません。［①］、うまくいかなくて、よくおもしろいまちがいをします。

あるとき、㋒こんな言いまちがいに出会いました。

「歯でくちびるをふんじゃった。」

この子は、「歯でくちびるをかんじゃった。」と言いたかったのです。

(1) ㋐「言葉の意味のはんい」とは、どんなことですか。文中の言葉十五文字で書きましょう。

(2) ［①］にあてはまる言葉を一つ選んで○をつけましょう。

（　）けれども
（　）たとえば
（　）そのため

(3) ㋒「こんな言いまちがい」とは、どんな言いまちがいでしたか。

「歯でくちびるを［　　］」と言いたいところを「歯でくちびるを［　　］」と言ってしまったまちがい。

言葉の意味が分かること　④

●次の文章を読んで、答えましょう。

（「歯でくちびるをかんじゃった。」を「歯でくちびるをふんじゃった。」と言いまちがいをした子がいました。）

よく考えてみると、「ふむ」も「かむ」も、「あるものを上からおしつける動作」なので、似た意味の言葉であるといえます。［㋐］、この子は、「かむ」という言葉を知らず、その代わりに、似た場面で覚えた「ふむ」を使ったのでしょう。つまり、この言いまちがいの原因は、自分が覚えた言葉を、別の場面で使おうとしてうまくいかなかったことといえます。㋑言葉の意味のはんいを広げて使いすぎたのです。

(1) 「ふむ」と「かむ」の二つの言葉は、どのような関係にある言葉だといえますか。

［　　］の言葉

(2) ［㋐］にあてはまる言葉を一つ選んで○をつけましょう。

（　）まるで
（　）たしかに
（　）おそらく

(3) 筆者は、言いまちがいの原因はどんなことだと述べていますか。文中から書き出しましょう。

［　　］

(4) ㋑――とありますが、この事例では何という言葉の意味のはんいを広げてしまったのですか。○をつけましょう。

（　）ふむ　　（　）かむ

言葉と文　**動きや様子を表す言葉　②**

動きを表す言葉の形の変わり方

文の中での使い方によって、動きを表す言葉の形が変わります。

水を飲まない。
水を飲みます。
水を飲む。
水を飲めば、
水を飲もう。
水を飲んだ。

大声で泣かない。
大声で泣きます。
大声で泣く。
大声で泣けば、
大声で泣こう。
大声で泣いた。

おぼえよう

●ごみを

拾わない。	拾います。	拾う。	拾えば、	拾おう。	拾った。

●プールで

泳がない。	泳ぎます。	泳ぐ。	泳げば、	泳ごう。	泳いだ。

1 次の言葉を、□に合う形で書きましょう。

(1) 話す

話	話	話
そ	し	さ
う。	ます。	ない。

(2) 遊ぶ

遊	遊	遊
ん		ば
だ。	ば、	ない。

(3) 走る

走	走	走
った。		
	ます。	ない。

(4) 動く

動	動	動
う。	ば、	ない。

2 〈　〉の言葉を、文に合う形に変えて、(　)に書きましょう。

(1) 〈拾う〉
公園で、百円玉を(　　)た。

(2) 〈待つ〉
あと十分(　　)ば、母が来る。

(3) 〈返す〉
借りた物は、ちゃんと(　　)う。

(4) 〈住む〉
今日から、この町に(　　)ます。

(5) 〈泳ぐ〉
昨日、体育のじゅ業で(　　)だ。

3 〈　〉の言葉を、文に合う形に変えて、(　)に書きましょう。

(1) 〈包む〉
プレゼントを(　　)ます。
ふろしきで(　　)だ。

(2) 〈送る〉
手紙を(　　)ば、きっと喜ぶ。
荷物を(　　)ない。

(3) 〈使う〉
図工で、はさみを(　　)た。
日本人は、はしを(　　)ます。

(4) 〈守る〉
約束を(　　)ない人は、いやだ。
学校の決まりを(　　)う。

言葉をよりすぐって俳句を作ろう　②

◎生活の中で気づいたことやおどろいたことを、俳句にして伝えよう。

俳句を読もう

青蛙（あおがえる）　おのれもペンキ　ぬりたてか

季語　青蛙

作者　芥川（あくたがわ）　龍之介（りゅうのすけ）

青がえるよ。おまえもペンキぬりたてのように、緑色（みどりいろ）にぴかぴか光っているなあ。

五七五の十七音がリズムを作る

俳句は五音・七音・五音の十七音からなる**定型詩**です。和歌にあった日本語のリズム感がそこにはあります。気をつけなければいけないのは、五音・七音・五音の音数であり、文字数ではないことです。「青蛙」は二文字ですが、音に出して「あおがえる」とすれば五音になります。

俳句の五音・七音・五音には、それぞれ「上五（かみご）」「中七（なかしち）」「下五（しもご）」という呼び名があります。

夏の季語を探して夏の俳句を作りましょう。

右の俳句の季語は何ですか

季語

漢字のおさらい　二年生

ステージ

2年生

□に漢字を書きましょう。

1 地球の□力

2 くじゃくの□

3 山にかかる□海

4 □息に行く

5 □科の教室

6 □休み

7 将来は□士になる

8 テレビでうたう□詞

9 まん□を読む

10 □歯がはずむ

11 かわいい□本

12 四つ□

13 鳥の□園

14 部屋の□間

15 紙を□める

16 大きな□積だ

17 □面を打つ

18 □車の旅

19 □矢を放つ

20 おいしい□肉

21 □饒をたたく

22 □京はビルばかりだ

23 妹は□力な味方

24 □近両用めがね

25 一つ違いの□兄

26 □形をかく

27 食事の□計をする

漢字のおさらい　二年生

2年生

28 げんき いっぱい
29 はら っぱ
30 と だな
31 ちゅうこしゃ を見に行く
32 ごご の勉強
33 だいく の仕事
34 こうえん で遊ぶ
35 おやおも いの息子
36 たか く飛ぶ
37 おうごん 時代

38 ぼきん の ごうけい 額
39 たに 底に落ちる
40 せかい の くに
41 こくちょう が泳ぐ
42 こんや の予定
43 さいしん の注意
44 さんすう の時間
45 しあい は ちゅうし だ
46 いちば へ出かける
47 さんにん の あね

48 し 想家である
49 かみ くず
50 じぶん の事だ
51 やしろ の祭り
52 きょうじゃく をつける
53 きりんの くび は長い
54 スポーツの あき
55 はるいちばん
56 しょうにんずう クラス
57 しょく 欲が出る

漢字テスト⑥の練習

来週の漢字を書くテスト⑥に出る漢字です。漢字の読み方を書き、三回練習しましょう。

① 意識　② 準備　③ 応じる　④ 簡潔　⑤ 原因　⑥ 述べる　⑦ 実在　⑧ 想像　⑨ 西部　⑩ 丸太

意識	準備	応じる	簡潔	原因	述べる	実在	想像	西部	丸太

漢字を読む⑥

①から⑩まで声に出して読みましょう。

土	日	月	火	水	木	金

↑読んだら○をつけましょう。

① 国語辞典を引く。
② 言語を学ぶ。
③ 実物を見せて説明。
④ 花びんを指す。
⑤ 全ての事物。
⑥ 似た場面で覚える。
⑦ 不自然な表現。
⑧ 母語と同様の感覚。
⑨ 決して当たり前ではない。
⑩ 事例と筆者の考え。

① こくごじてんをひく。
② げんごをまなぶ。
③ じつぶつをみせてせつめい。
④ かびんをさす。
⑤ すべてのじぶつ。
⑥ にたばめんでおぼえる。
⑦ ふしぜんなひょうげん。
⑧ ぼごとどうようのかんかく。
⑨ けっしてあたりまえではない。
⑩ じれいとひっしゃのかんがえ。

☆来週の漢字読みテストの問題です。一日一回は、声に出して読みましょう。

漢字テスト　⑤

読むテスト

○線の漢字の読みがなを書きましょう。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
役わりを交代する。	事前の下調べ。	相手の意図をとらえる。	プロ野球の選手。	全ての答えを予想。	見立てるという行為。	輪を結んで指にかける。	世界各地のあや取り。	丸太を組む。	自然と深く関わる。

書くテスト

○太い字を漢字で書きましょう。（送りがなも書きましょう）

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
せいけつ	しつもん	きろく	わだい	ほうこく	たいけん	せいかく	しょぞく	さんか	ないよう

授業用ワーク　言葉の意味が分かること①

文章の組み立てをとらえよう。

構成	初め	中（前半）			中（後半）	
段落	①	②	③	④	⑤	⑥
書いてあること	言葉の意味には広がりがある。それを知っておくことは、言葉を学ぶときに役立ち、ふだん使っている言葉やものの見方を見直すことにもなる。					
大事な語や文	・言葉の意味 ・広がり					